

薪能

新
作
能

裁断橋

令和8年
3月28日(土)

午後4時30分 開場
午後5時30分 オープニングセレモニー
午後6時 開演



天正十八年(一五九〇)二月、
堀尾金助は十八歳の若さで豊臣秀吉の小田原征伐に出陣し、
母は裁断橋で金助の無事を祈り見送りました。
しかし同年六月、金助は陣中で病死してしまいました。
金助の死を嘆き悲しんだ母は、我が子を弔うため私財を擲って、
金助との別れの場となった裁断橋をかけ替えました。
大町町にある堀尾跡公園には裁断橋が忠実に復元され、
大町町出生の母子の深い愛情物語として受け継がれています。

入場料 無料

観覧席 300席(入場券必要)

観覧希望の方は、入場券が必要です。
申込方法については裏面をご確認ください。

開催場所

花見橋南特設会場

丹羽郡大町町下小口六丁目150番

(雨天の場合:町民会館)
(丹羽郡大町町丸二丁目8番地)

※演能中に雨が降った場合は、中止になります。

◆主催/大町町 ■お問合せ/大町町 まちづくり部 まちづくり推進課 ☎0587-95-1614

薪能 新作能

裁断橋

作・演出 久田勘陽 原作 佐藤友彦

新作能「裁断橋」あらすじ

東国方の僧が熱田神宮の参拝を思い立ち、東海道を旅して熱田の国、精進川の裁断橋のもとにたどり着きます。橋を渡り熱田の宿に入ろうとすると、一人の女性が現れ、欄干の擬宝珠を見て念仏を唱えて渡るよう声をかけます。不審に思った僧が尋ねると、昔、十八歳で豊臣秀吉の小田原攻めに初陣としてこの橋から出陣した堀尾金助という者がいたが、兵糧攻めのため、長逗留の陣中で病死して屍で戻ってきたことを語り姿を消してしまいます。

そこへ、昔裁断で追放されていた神宮の神職が戻り、里人と色々やりとりの末、神職は祝詞をあげ、里人は念仏を唱え共に裁断橋を渡って行きます。僧は先程の女性が金助の母の霊と悟り、二人の菩提を弔います。すると、若武者姿の金助の霊が現れます。金助は、初陣の場に臨みながら一度も刃をまみえることなく病死してしまった我が身の無念さと思い、武門の家に生まれ初陣で手柄を立てたかった願望のあまり夢の中で実際には出来なかった敵との戦いの有様を見せますが（この能の見せ場）、僧の説教と橋を渡る人々の念仏の声によって二人の霊は有明の空に消えていくのです…。

この新作能の後場は、金助をシテではなく、ツレ役として登場させ、前シテの母を後シテとして登場させるところが斬新な演出となっています。

シテ【金助の母の霊】

久田 三津子

ツレ【堀尾金助の霊】

山中 雅志

後見

山階 彌右衛門

地謡

大西 礼久

他

番組

午後5時30分	オープニングセレモニー
午後5時45分	火入れ式
午後6時00分	上演開始
午後7時30分	終演予定

申込方法について ※申込多数の場合は抽選となります。

申し込む ※お一人で2名分まで申し込み可能

次のいずれかの方法でお申し込みください。（一人一回まで）

- ①電子申請 右のQRコードからアクセスし、申込フォーマットに必要な事項を記入し、申込を完了してください。
- ②窓口申請 大口町役場2階まちづくり推進課の窓口にて、申込書に必要な事項を記入のうえ、窓口へ提出してください。
窓口開設時間：午前8時30分から午後5時15分まで
（土日祝及び正午から午後1時までを除く）



【申込期間】令和8年1月7日から令和8年1月28日まで

※窓口は混み合う可能性があります。便利な電子申請をご利用ください。

入場券が届く

令和8年2月6日に郵便（特定記録）で入場券を発送します。
※申込多数で抽選となった場合、落選された方にも通知します。

当日観覧する

当日は受付で、入場券をスタッフに提示してください。

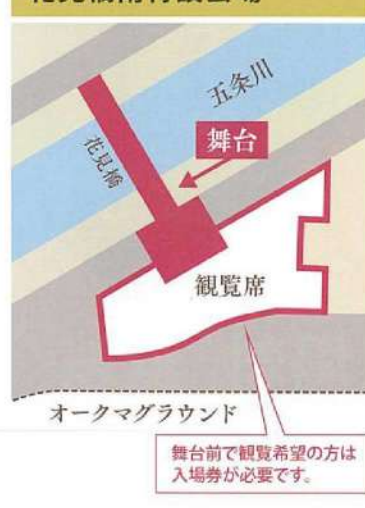
- 【注意事項】
- ・申し込みは先着順ではありません。急がず申込期間内にお申し込みください。
 - ・小学生未満のお子様で、大人の方が膝に抱えて鑑賞する場合は、人数に含める必要はありません。（座席が必要な場合は人数に含めてください。）

・全席自由席です。

周辺地図及び駐車場のご案内



花見橋南特設会場



会場についての注意事項

- ・雨天の場合は、会場を町民会館（丹羽郡大口町丸二丁目8番地）に変更します。
- ※3月27日（金）までに、入場券をお持ちの方にメール等でお知らせします。併せて、大口町ホームページや公式SNS等でも周知します。
- ・新能会場内への酒類の持込、水分補給以外の飲食はできません。
- ・カメラ、ビデオ、録音機器、携帯電話等による撮影・録音・録画は固くお断りします。